

講師紹介

◇趣旨説明 「北海道の豊かな自然と資源を活用した観光まちづくり」

中山 隆治（なかやま りゅうじ）

北海道大学公共政策大学院教授・総長補佐

環境省の職員として、国立公園の計画・管理・整備等に本省・現場の双方で長年従事。小笠原諸島世界自然遺産登録や各地の国立公園のインバウンド誘致等を担当。内閣官房・内閣参事官（地方創生担当）や東北・中部地方環境事務所長等を歴任。

◇講演① 「地域資源の観光活用 ～魅力づくりの事例集～」

寺崎 竜雄（てらさき たつお）

静岡県立大学 経営情報学部 / 大学院ツーリズム研究センター講師 博士（農学）

（公財）日本交通公社（JTBF）研究員として、全国各地の観光地や自治体に出向き、長年調査研究と地域支援を行ってきた。JTBFでは観光地域研究部長等や常務理事を歴任。専門分野は、観光政策、地域資源管理、エコツーリズムで、現在は地域資源の活用と保全のしくみ、エコツーリズムの普及と定着方策、持続可能な観光のためのオーバーツーリズム対策等を研究している。

◇講演② 「にっぽんの田舎を元気にする！」

寺本 英仁（てらもと えいじ）

株式会社Local Governance代表 元・島根県邑南町役場商工観光課長等

邑南町においてA級グルメ構想や耕すシェフ制度等を手掛け、町を地方創生の優等生に仕立て上げた「スーパー公務員」として知られ、NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』にも取り上げられた。総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師、北海道鹿部町地域力創造アドバイザー（2022年4月～2024年3月）、東亜大学医療学部客員教授等に就任。著書に『ビレッジプライド 「0円起業」の町をつくった公務員の物語』『A級グルメが日本を元気にする』等がある。

◇講演③ 「エコツーリズムと宝探しによる観光まちづくり」

海津 ゆりえ（かいづ ゆりえ）

文教大学国際学部国際観光学科教授・大学院国際学研究科長 博士（農学）

自然や生活文化、人などを「宝」として守り、継承し、観光によって外の力を使いながら地域の持続ある発展を実現する「エコツーリズム」を、沖縄県西表島や南大東島、東京都八丈町や檜原村、鹿児島県奄美群島、福島県裏磐梯などを舞台に研究・実現してきた。特に、地域の「宝探し」を住民参加の取組で実践することを重視している。内閣府地域活性化伝道師。

◇講演④ 「信州いいやま観光局と着地型コンテンツ開発」

小泉 大輔（こいずみ だいすけ）

北海道大学 観光学高等研究センター／大学院国際広報メディア・観光学院 准教授

まちづくり調査会社を経て、長野県飯山市観光協会での専任職員として法人化と着地型旅行業の立ち上げ、歩く旅による地域ブランド構築、広域拠点を見据えた観光局設立等の業務を手がける。東日本大震災直後に福島県立テクノアカデミー会津観光プロデュース学科に転じ復興を担う観光人材育成に従事。2023年10月北海道大学着任。